

## 「横浜G30プラン」(横浜市一般廃棄物処理基本計画)の概要

### 基本理念 (環境行動都市の創造に向けて)

ごみ問題を環境問題、資源・エネルギー問題の一環としてとらえ、廃棄物による環境への負荷をできる限り低減するため、廃棄物の発生を抑制するとともに、徹底した分別をはかり、再生利用を推進することで、限りある資源・エネルギーの消費の節減と循環的な利用を促進し、市民・事業者・行政が協働し、一体となって「循環型社会」の実現をめざします。

#### 廃棄物対策の5つの柱

- 1 市民・事業者・行政が一体となった減量化・資源化の取り組み
- 2 わかりやすい目標と全市民・事業者が参加・協力できるシステム
- 3 排出者責任・拡大生産者責任の考え方のもと、市民・事業者・行政が役割を認識し、分担
- 4 3Rの推進と安全で安定的な処理
- 5 民の力を活用した安全できれいなまちづくり

#### 市民・事業者・行政の役割

市民	環境にやさしいライフスタイルへの転換 分別排出の徹底 地域における積極的な減量・リサイクル活動 など
事業者	ごみになりにくい製品の設計・製造 使用済み製品の回収・リサイクル 発生抑制、再使用、リサイクルの推進など
行政	3Rのしくみづくり 普及啓発、情報提供、情報交換 処理・処分における環境負荷の低減など

### 計画目標

「焼却と埋立処分を中心とした」廃棄物対策から、「市民・事業者・行政が協働しものを大切にする生活スタイルを広め、発生抑制・再使用を推進し、徹底的な分別をおこない、再生利用をすすめることで、焼却・埋立処分が必要となるごみができる限り削減することを基本とする」廃棄物対策への転換をはかり、

**平成22年度におけるごみ量\*を、平成13年度実績に対し30%削減**

\*ごみ量...ごみとして排出されるもののうち、資源物として排出されるものを除く量

### 基本方針と主な施策

#### 1 市民・事業者・行政が情報を共有

- ・ごみ・環境情報の提供 ・環境教育・環境学習の推進 ・普及啓発活動の推進

#### 2 市民・事業者・行政が協働して、ごみ減量化を推進

- ・G30行動の推進 ・市及び各区にG30行動の推進組織を設置 ・経済的手法等の検討

#### 3 徹底的なごみの分別と資源化

- ・プラスチック製容器包装、古紙、古布、スプレー缶、燃えないごみを新たに分別収集品目に加えた分別収集の拡充 ・資源集団回収の推進 ・資源デポの整備 ・排出事業者による適正排出と資源化の推進
- ・許可業者等による適正排出と資源化の推進

#### 4 環境に配慮したごみ処理の推進

- ・輸送事務所の委託または廃止によるコストの削減・効率化の推進 ・リサイクル関連施設等の整備・運営
- ・施設の長寿命化による効率的な運営・管理 ・焼却残さの有効利用の推進など最終処分場への負荷の低減
- ・灰溶融など焼却残さ資源化技術の調査・研究

#### 5 環境にやさしい、きれいなまちづくりの推進

- ・地域からの美化活動の推進 ・不法投棄防止対策の推進